

2019年度 事業計画

【公益目的事業】

石油、天然ガス、石油化学工業及びこれらに係わる資源、エネルギー、環境に関する分野の学術並びに技術の調査・研究を推進し、これらの成果を会誌、講演会、ホームページ等で公開し、石油及び周辺エネルギーに関する知見を広める。さらに研究発表会・討論会、資格付与、研究助成及び表彰事業により、研究者・技術者を奨励して研究・技術の向上を図り、本分野における学術・科学技術の一層の発展とエネルギーの安定供給を目指す事業を行う。

1. 調査・研究事業の推進

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展、石油・エネルギーの安定供給及び地球環境の保全を図るため、学会本部内の7つの部会（資源、精製、石油化学、製品、装置、経営情報、新エネルギー）をはじめ、支部、JPIJS（若手会）、委員会にて調査・研究を行う。

1-1 調査・研究

1-1-1 部会活動

(1) 製品部会

- 1) 燃料油分科会で、第22回CFRセタン価照合試験を実施する。
- 2) アスファルト分科会で、アスファルトの成分分析方法について検討を行う。
- 3) 絶縁油分科会で、以下の活動を行う。
 - a) 絶縁油関連の文献を調査し、最新情報を共有する。
 - b) ストレイガス発生試験法について調査・検討を行う。
 - c) 電気絶縁油のJIS改正に向けた検討を行う。
 - d) 電気絶縁油ハンドブックの追補作成に向けた検討を行う。
 - e) 絶縁油に関する調査・研究を行う。
- 4) 試験分析分科会で、以下の活動を行う。
 - a) 石油製品中のNa, K分の分析方法について調査・検討を行う。
 - b) 灯軽油中のクマリン分試験方法について調査・検討を行う。

(2) 装置部会

分科会、専門委員会において担当の分野に関連した調査・研究を行う。

(3) 経営情報部会

ワーキンググループ (1) 「石油・エネルギー産業史」及び (2) 「石油・石油化学プラントにおけるAI技術とその活用方法の調査・研究」を設置し、調査・研究を行う。

(4) 新エネルギー部会

次世代のバイオ燃料やCO₂の有効利用技術について、調査・研究を実施する。

1-1-2 受託、参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する「プロセスコンフィグレーション評価モデルの作成」及び「革新的石油精製技術シーズ発掘事業」に参加する。
- (2) (一財)JCCP国際石油・ガス協力機関が実施する産油・産ガス国事業環境整備等事業のうち、①テーマ別合同シンポジウム事業、②産油・産ガス国研究者交流事業に参加する。

1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託、参加事業で得られた調査・研究の成果、ならびに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開・普及させることによ

り、国民全体が石油及び周辺エネルギーの現状に対する理解を深め、その活用について関心を持つことを目指す。また、これらの分野の研究者・技術者に対しては、最新情報の共有とともに、人的交流を促すことで技術分野のすそ野の拡大を図る。本会による最新の調査・研究成果の公開・普及は、学術の一層の振興に加え、本分野に携わる技術者の育成にもつながり、製油所や化学設備の安全・安定操業、ひいてはエネルギーと石油関連製品の安定供給に寄与するものである。

1-2-1 会誌（一般誌）

本会の様々な調査・研究活動の内容ならびに石油及び周辺エネルギーに関する最新事情を紹介する「ペトロテック」（一般誌）を、月刊で12回発行する。

1-2-2 広報

本会HPを通して、本会活動の紹介や石油及び周辺エネルギーに関する様々な情報発信を行う。また、前年度同様、大会注目発表や学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

1-2-3 講演会等（移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

(1) 石油啓発教育

- 1) 教育委員会において、移動大学「石油関連セミナー」を前年度に引き続き実施し、大学を中心に年間65回程度の講義を開催する。また、3大学においてリレー講座を開催する。
- 2) 石油初学者や若手の研究者・技術者向け講習会を開催する。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 夏季研究発表会（苫小牧）を2019年7月に日本化学会北海道支部と共催する。
- 2) 第11回実践的石油学講習（苫小牧）を企画し、2019年10月に実施する。
- 3) 第19回北海道支部講演会（室蘭）を企画し、2019年11月に実施する。
- 4) 触媒学会札幌講演会（札幌）を2019年11月に共催する。
- 5) 化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会（札幌）を2020年1月に共催する。

[東北支部]

- 1) 2019年10月31日(木)、11月1日(金)に開催する山形大会（第49回石油・石油化学討論会）のための実行委員会を組織し、準備・運営に協力する。
- 2) 触媒学会東北地区講演会を共催する。

[東海支部]

- 1) 第8回東海支部講演会（名古屋）を企画し、2019年9月に実施する。
- 2) 東海地区の製油所・事業所にて学生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。また2019年9月に報告会を企画し、実施する。
- 3) 学生を対象にした事業所見学会（知多）を企画し、2019年秋に実施する。

[関西支部]

- 1) 研究機関・企業見学会を企画し、2019年5月に実施する。
- 2) 第27回学生企業見学会（堺）を企画し、2019年9月に実施する。
- 3) 第26回関西支部セミナー（大阪）を2019年10月に日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 4) 第28回関西支部研究発表会を2019年12月に日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 5) JPIJS関西地区セミナー（大阪）を2019年8月にJPIJS関西地区と共催する。
- 6) 関西地区の製油所・事業所にて学生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。

[中国・四国支部]

- 1) 第37回中国・四国支部講演会（岡山）に企画し、2019年11月に実施する。
- 2) 第24回中国・四国支部技術交流会（小野田）を企画し、2020年1月に実施する。

- 3) 中国・四国地区の製油所・事業所にて学生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。

[九州・沖縄支部]

- 1) 第42回九州・沖縄支部講演会（福岡）を企画し、2019年6月に実施する。
- 2) 第43回九州・沖縄支部講演会（北九州）を企画し、2019年11月に実施する。

(3) JPIJS講演会

- 1) 第24回 JPIJS 若手研究者のためのポスターセッションを2019年5月28日(火)に開催する。
- 2) 第49回石油・石油化学討論会において依頼講演及び国際セッションを企画し、協力する。
- 3) JPIJS 討論会を精製部会プロセス分科会の協力のうえ2019年7月に開催する。
- 4) 2019年10月～2020年2月に講演会を開催する。
- 5) 第59回オーロラセミナーを2019年7月～8月に触媒学会と共催する。
- 6) コロキウム2019を2019年8月下旬に日本エネルギー学会関西支部・石油学会関西支部と共催する。
- 7) 第30回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を2019年7月下旬に化学工学会九州支部と共催する。
- 8) ペトロテックの「JPIJSだより」及びHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 第49回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 資源講演会を企画し、実施する。

[精製部会]

- 1) 精製講演会を企画し、2019年10月11日(金)に実施する。
- 2) 第45回精製パネル討論会を企画し、2020年1月または2月に実施する。
- 3) JPIJS討論会に協力する。

[石油化学部会]

- 1) 第49回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 第2回石油化学部会シンポジウムを企画し、2019年12月に実施する。

[製品部会]

- 1) 2019石油製品討論会を企画し、2019年11月または12月に実施する。
- 2) 絶縁油分科会では、第39回絶縁油分科会研究発表会を企画し、2019年6月7日(金)に実施する。
- 3) 絶縁油分科会では、第5回絶縁油分科会後継者育成講習会を企画し、2019年11月7日(木)に実施する。

[装置部会]

- 1) 第49回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 回転機分科会では、第19回回転機研究討論会を企画し、2019年10月に実施する。
- 3) 配管分科会では、第16回配管技術セミナーを企画し、2019年11月に実施する。
- 4) 設備保全分科会では、第50回装置研究討論会を企画し、2019年12月に実施する。
- 5) 計装分科会では、第36回計装研究討論会を企画し、2020年3月に実施する。
- 6) 電気分科会では、第20回電気研究討論会を企画し、2020年3月に実施する。

[経営情報部会]

- 第49回石油・石油化学討論会に協力する。

[新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー部会講演会を企画し、実施する。
- 2) 第49回石油・石油化学討論会に協力する。

1-2-4 規格の制定・普及

[装置部会]

(1) 装置委員会

- 1) 機器分科会では、機器WGによる機器分科会関係規格の見直し及び技術資料の作成を、前年度に引き続き実施する。
- 2) 配管分科会では、フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会による関係規格見直し等の活動を、前年度に引き続き実施する。
- 3) 計装分科会では、計装技術専門委員会の活動として計装分科会関係規格の見直し、アンケート調査等による技術情報の収集、設備維持規格改訂作業への支援を行う。
- 4) 電気分科会では、電気専門委員会の活動として、安全・技術情報の収集、設備維持規格改訂作業への支援を行う。

(2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るために制定した設備維持規格について、追補の発行と定期的な改訂作業を実施する。また、設備維持規格の一層の周知徹底、理解を深めるため、該当する規格内容全般に関する講習会等の実施や学習ツールの提供を行う。

- 1) 設備維持規格一般講習会（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を2020年1月に東京で実施する。配管・設備については、京都でも実施する。
- 2) 設備維持管理士更新講習会（回転機、電気設備、計装設備）を2020年1月に東京で実施する。
- 3) 設備維持管理士更新講習会（配管・設備）を2020年2月に東京及び京都で実施する。

1-2-5 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認証委員会において設備維持規格の内容に関する認証のための評価試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与する。また、設備維持管理士制度の認知を広げ、制度の更なる普及を目的に、設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行う。

- (1) 設備維持管理士認証のための評価試験（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を2020年2月に東京及び大阪で実施する。
- (2) 第49回石油・石油化学討論会において、設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行う。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者、技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催する。

- (1) 第68回研究発表会を2019年5月29日(水)に東京で開催する。
- (2) 第49回石油・石油化学討論会を2019年10月31日(木)、11月1日(金)に山形で開催する。
- (3) 韓国工業化学会（KSIEC）と協力し、第49回石油・石油化学討論会に国際セッションでの招待講演を企画する。
- (4) Journal of the Japan Petroleum Institute（論文誌）を隔月刊で6回発行する。Vol. 62 No. 5（9月号）では創立60周年記念東京大会特集号の刊行を予定している。

2-2 研究助成

石油及びその周辺エネルギー分野における研究開発の一層の推進を図るため、本分野に携わ

る若手研究者の研究奨励として、研究助成金交付事業を実施する。

前年度に続き若手研究者への助成公募を行い、委員会において適格者を選考し、研究助成金を交付する。

2-3 表彰

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、本分野で顕著な業績をあげた者または組織を石油学会表彰規程により表彰する。

【収益事業等】

1. 受託事業

「最新ガソリン乗用車の制御技術並びに燃料影響調査」及び「ディーゼル車の燃料供給システム調査」を(株)石油産業技術研究所から受託し、本会製品部会内に設置した委員会においてそれぞれ調査を行い、報告書を作成する。本報告書の内容に関しては、委託元との契約により公表はされていない。

2. 図書及び標準試料認定・販売事業

2-1 図書販売

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に、専門書、辞典、入門書を適宜、企画し刊行する。また、販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料または印税収入を得る。

「新版 石油精製プロセス」(2014)、「新版 石油化学プロセス」(2018)、「石油辞典」(2005)、「石油がわかれば世界が読める」(2008)

2-2 標準試料認定・販売

標準試料委員会において石油関連試験の精度維持向上に必要な標準物質を作成し、認定する。

- (1) 前年度に引き続き、重油硫黄分、重油窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA(蛍光指示薬吸着法)用、軽油硫黄分、標準ガソリン、希釈用ガソリン、引火点、及び分離確認用の認証事業を行い、標準物質を委託販売する。
- (2) 分析技術の進展や需要を見ながら、新規認証及び認証中止の検討を行う。
- (3) 分析機器メーカーをはじめとする関連企業および関連団体との情報交換を行う。

3. 溶接士の認定事業

溶接士検定委員会において技量検定基準(JPI-7S-31規格)の見直し、及び全国規模での溶接関連情報の交換を実施する。また、溶接功労賞の表彰を行う。石油学会溶接士認定証の発行業務は引き続き、(一社)日本溶接協会に委託する。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では、エンジン汚れ評価に関するJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
- (2) 製品部会ガソリン分科会では、CFRエンジン整備講習会を2019年10月または11月に開催する。
- (3) 部会及び支部にて適宜、会員限定の勉強会、講演会を開催する。
- (4) 年会、秋季大会及び講演会の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催する。
- (5) 年会、秋季大会において会員企業のPR展示を企画し、実施する。
- (6) 維持会員交流会を開催する。

【法人管理】

- (1) 2019年度も前年度と同様、企業の新入社員を対象とした勧誘活動を行う。また、普通会员入会者を対象としたキャンペーン(初年度会費半額)など、会員の増強活動を積極的に推

進する。

- (2) 法人管理・運営にあたり，以下の会議を適宜開催する。通常総会（1回），理事会（4回），運営会議（5回），顧問会（1回），役員等候補者選定委員会（適宜），財務委員会（適宜），職員人事委員会（適宜），事業活性化委員会（適宜）ほか。
- (3) 他学協会その他関連団体からの事業の共催・協賛などの要請に適宜，協力する。

【講演会， 討論会， 研究発表会ならびに見学会等の事業計画】

月	日	曜	名 称	開 催 地
2019年				
5	28	火	第60回通常総会， 第62回年会－特別講演， 受賞講演， 第24回JPIJSポスターセッション， 懇親会	東京 タワーホール船堀
	29	水	依頼講演， 受賞講演， 第68回研究発表会	
6	7	金	第39回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都リサーチパーク
7	4	木	若手講習会	東京
10	—	—	第19回 回転機研究討論会	東京
10	11	金	精製講演会	東京 青少年総合センター
10	31	木	山形大会－ 特別講演， 依頼講演， 懇親会， 第49回石油・石油化学討論会	山形 山形テルサ
11	1	金		
11	7	木	第5回絶縁油分科会後継者育成講習会	東京 大田区産業プラザ
11	—	—	第29回日本－サウジアラビア合同シンポジウム	サウジアラビア
11	—	—	第16回配管技術セミナー	東京
12	—	—	2019石油製品討論会	東京
12	—	—	第50回装置研究討論会	東京
12	—	—	第2回石油化学部会シンポジウム	東京
2020年				
1	—	—	設備維持規格講習会（配管・設備）	東京， 京都
1	—	—	設備維持規格講習会（回転機， 電気設備， 計装設備）	東京
1	—	—	設備維持管理士更新講習会（回転機， 電気設備， 計装設備）	東京
2	—	—	設備維持管理士認証のための評価試験 （配管・設備， 回転機， 電気設備， 計装設備）	東京， 大阪
2	—	—	第45回精製パネル討論会	東京
2	—	—	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京， 京都
2	—	—	第19回日本－クウェート合同シンポジウム	クウェート
3	—	—	第36回計装研究討論会	東京
3	—	—	第20回電気研究討論会	東京
—	—	—	新エネルギー一部会講演会	東京
—	—	—	資源講演会	東京

以 上